ニューヨーク補習授業校だより

平成２７年度　第６号
校 長　青木　正彦



さすが6年生！堂々の音読発表

６年生による「天地の文」の暗唱・音読は、広い講堂に響き渡りました。古文の特徴あるリズムにのって、堂々とした力強い発表でした。

「内容を理解した後、4つのグループに分けました。特に自分のパートについては、自信をもって音読できるように、促しました。さらに、自分からいろいろなパートに入っての練習もできました。古文のリズムを楽しんでいる様子でした。」と担任の先生の弁です。

音速発表会は、LI校では恒例の行事となっています。初等部全員の前で発表するために、どのクラスも練習に励んでいます。国語学力としては価値のある有益な学習です。他の学年も6年生に続き、楽しみながら、力を発揮してほしいです。

日本クラブ創立110周年記念
国際理解・読書感想文コンクール2名入賞！

〈最優秀賞〉 山口　茜さん　LI中等部2年
〈佳作〉　　面　みあさん　W中等部3年

夏休み直前に飛び込んできた感想文コンクールで、課題図書は二階恭子訳の「Chocolate and The Blue Sky」でした。存分に内容を理解したうえで、感想をどれだけ日本語で表現するかというもので、本校の生徒にとっては腕のなる企画でした。

本校からは入賞者が2名選ばれました。表彰式は日本クラブで行われ、大使をはじめ審査員、入賞者その家族の方が出席しました。

審査委員長の講評では、「面さんは表現力が優れていて、’未知の世界とゆっくり繋がっていくドラマ’とか’縁を感じ取るというエリックの姿勢は異文化を楽しむコツ’など非常に印象的であった。」「山口さんは、深い読解力、優れた構成力、文章力で、審査員の方々の評価が大変高かった。’エリックの存在は、鏡の役割を果たしている’’この物語の主人公は一人ではなく・・・私自身かもしれない’と読書の醍醐味を気づかせてくれました。」

二階恭子さんは、現駐チリ、元駐ガーナ日本国大使夫人ですが、



（写真左；　二階恭子さん　写真右；山口茜さん）

「自分の訳した本を読んでくれたニューヨークの子どもたちに感謝の気持を伝えたい。」と式に駆けつけてくれました。そして訳した時のエピソードを披露されました。

山口さんには、米国内親子どこでも往復航空券が、面さんには、百ドルの図書券が贈呈されました。